

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州 100 年企業創出構想：あしたシナリオ創造ゼミ
事業主体 (連絡先)	信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業(その他)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,428,898 円 (うち支援金：1,093,000 円)

事業内容

近年、地方の中小企業における「人材難」が問題視されるが、その原因の一つは量としての人材不足ではなく、質として人材が学び・成長を行うための環境不足が挙げられる。本事業では、特に経営者のビジョンを実現へと結びつけるような「次代の若手」「中核的なマネージャー人材」に注目し、その発掘と育成のために大学の教育資源を活用した「あしたシナリオ創造ゼミ」を実施。

- A. キックオフセミナー@SWEET Work (10/5)
- B. あしたシナリオ創造ゼミ@勤労者福祉会館他
 - ・ワークショップ (WS) : 3 回 (11/16, 12/8, 1/18)
 - ・特別セミナー : 2 回 (10/26, 2/15)
 - ・FB コミュニティ運営 (課題のピアレビュー等随時実施)
- C. ブックレット作成 : 3 ケース
- D. 成果報告会 : 1 回 (※3/14 COVI-19 対応で開催中止)

事業効果

A. キックオフセミナーによる周知・メディア掲載

松本市の様々な企業の若手等 25 名が参加。本事業の主旨説明及びオープンセミナーを通じてマインドセットをした上で参加者を募集 [活動写真 A]

B・D. ゼミを通じた自己変革とネットワークの構築

参加者は、ゼミやセミナー、Facebook コミュニティでのフォローアップ等を通じて自身の目標管理やマインドセットなど「主体的自己」を形成することができた。さらに異業種ネットワークを形成することで、企業間連携の基盤形成に繋がった。登録者 30 名、修了生 13 名、企業 2 社。

C. ブックレット作成

本事業紹介及び企業紹介 2 件を作成し、ウェブを通じて配信。本事業成果の発信及び今後の後継事業等へのプロモーションツールとなった。

今後の取り組み

本事業を通じてリカレント・プログラム、人的ネットワークのベースは構築されたが、今後は社内への浸透・巻き込みの仕組み構築、企業間連携のための場づくりなど新たな事業創出の仕掛け、自立的な運用等を検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①地域企業向けリカレント教育の充実
- ②次代・中堅人材の発掘と育成
- ③大学の教育資源・人材の活用

【事業実施風景】



A. キックオフセミナーの実施風景



B. あしたシナリオゼミ (WS) 実施風景



C. ブックレット

※自己評価 【B+】

左記の通り、地域企業の次代・中堅人材の発掘、リカレント教育プログラムのプロトタイプが構築を実現できた。